

方針 2

即応性の高い行政経営

急速な科学技術の進歩は、私たちの想像を大きく超える変化を社会にもたらすと言われていいます。また、少子高齢化や人口減少の進展により、社会保障関係経費の増加などが見込まれています。

そうした時代にあって、行政が豊かな市民生活を守っていくためには、大きな変化へ速やかに対応、適応できるよう、無駄がなくかつ柔軟な状態であることが必要となります。事務事業の見直しや歳出の最適化等により健全な財政運営を維持するとともに、複雑化する行政課題に横断的に取り組む庁内連携の強化、情報技術の活用などによる業務の効率化、計画的な修繕等による適切な財産管理等を継続的に進めることにより、即応性の高い行政経営の推進に努めていきます。

現状と課題

- 複雑化する市民ニーズや行政課題に加え、近年の目覚ましい技術革新や、それらを背景とした社会情勢等の急速な変化にも対応できる機動的で柔軟な行政経営が求められています。
- 今後、人口が減少すると見込まれている中では、より効果的かつ効率的な行政経営のあり方を常に検討し、実践していくことが重要です。
- 行政サービスを受ける市民等が分かりやすくスムーズに手続を行えるよう、また、市の取り組みが最大の効果を発揮できるよう、時代の変化を捉えながら組織体制を整備するとともに、その機能を高めていくことが必要です。
- 今後30年以内に高い確率で発生するとされている「首都直下地震」などの大規模災害に見舞われても、行政機能の停滞を最小限にとどめられるよう、事前に態勢を整えておくことが必要です。
- 本市の公共施設等については、その多くが昭和30年代後半から平成初期にかけて整備されており、老朽化に対応していく必要があります。

取り組み方針

健全で持続可能な財政運営

- 市民生活の質を高める施策、事業等を将来にわたって行うことができるよう、市民目線を大切にして選択と集中を進めながら、健全で持続可能な財政運営を維持していきます。
- 社会情勢や国等の動向を見極めたうえで、市税や保険料等の適正な賦課・徴収を行うことにより、負担の公平性を高めつつ、財源を安定的に確保していきます。また、施設使用料や行政手続きの手数料について、受益と負担の適正化が図られるよう、定期的に検証し、必要に応じて見直しを行います。
- 自主財源の確保に努めるとともに、国や県の補助金等の積極的な活用を図ります。
- 国が企業会計の要素を取り入れて定めた「統一的な基準」による公会計*を運用することなどにより、予算・決算などをはじめ、財政状況等に関する情報を分かりやすく公開し、説明責任を果たしていきます。

機能的な組織・態勢づくり

- さらなる窓口のワンストップ*化に努めるほか、行政施策を効果的に展開できる実行性を備えた組織体制としていくとともに、先進的な取り組みや多岐にわたる行政課題に対応するため、必要に応じてプロジェクトチームを設けるなど、庁内連携を強化していきます。
- ノウハウを有する民間事業者等へのアウトソーシング*について、有効性を見極めながら導入を検討します。
- 情報通信技術については、近年、注目が高まっているビッグデータ*やAI*、IoT*等も含め、セキュリティの確保を徹底したうえで、市民サービスの充実や行政事務の効率化に寄与するものを精査しながら、積極的に活用を図っていきます。
- 大規模災害時において、行政サービスの提供が可能な限り維持できるよう、業務継続計画（BCP）に基づく体制整備を行います。また、地域防災計画と連動して、随時、BCPを改良するとともに、訓練等を行うなど、業務継続に向けた体制の実効性を高めていきます。
- 近隣自治体をはじめ、民間事業者や学術研究機関との連携を深め、広域的な課題や先進的な課題の解決を図り、施策等の効果を高めていきます。

公共施設・公有資産の適正管理

- 公共建築物及びインフラ施設について、計画的な改修や修繕を進めることで、施設の長寿命化を図り、最大限有効活用していきます。これにより、維持・更新に係る費用や、単年度支出の抑制につなげていきます。
- 公有資産については、市民サービスの充実を前提にした貸し付けのほか、資産全体の状況や、公有地等が所在する周辺状況を踏まえた売却の検討など、有効活用、最適化に向けた運用を図っていきます。

*企業会計、公会計……行政の会計は、古くから単式簿記、現金主義で行われてきましたが、近年、民間企業などが用いる複式簿記、発生主義の要素を取り入れることが進められています。

*ワンストップ……1か所で用事が足りること、1か所で何でも揃うことをいいます。

*アウトソーシング……専門性を有する外部の企業などに業務を委託することや、外部の人材等を活用することをいいます。

*ビッグデータ……コンピュータやインターネット上で扱われる大容量のデジタルデータのことをいいます。

*AI……Artificial Intelligence（人工知能）の略です。

*IoT……Internet of Things の略です。一般的にモノのインターネットと訳され、あらゆるものがインターネットにつながることをいいます。